

H29年度 第2回 都市公園指定管理者評価委員会 会議概要

1. 日 時 平成30年2月19日（月曜日）午後3時00分から午後5時00分まで

2. 場 所 大阪府庁別館7階 都市計画室会議室

3. 出席者

山田委員長、嶽山副委員長、関野委員、呉委員

4. 議題

(1) 指定管理者の評価について

(2) 表彰の進め方について

5. 主な議事内容

(太字：委員 細字：事務局)

(1) 指定管理者の評価について

(2) 表彰の進め方について

- ・ 事務局より現地視察結果の概要及び各公園の評価について説明

(評価項目について)

- ◇ 評価項目「アンケート結果はどうであったか」について、「S」評価となっているにも関わらず、同じ来園者対応を含んだ評価項目である「トラブルの未然防止」では接遇対応に問題があり、「B」評価となっており、2つの評価項目で整合が取れていないのではないか。

⇒ 評価項目「アンケート結果はどうであったか」において、評価を下げることは、接遇対応等の1つの失敗で2つの評価項目で評価されることとなり、指定管理者にとって不利益となるため、「S」評価のままとする。評価項目「アンケート結果はどうであったか」は、来園者満足度のみを評価するものと認識。

- ◇ 微妙な点数差で評価が変わること（1.5点ならA、1.6点ならS）には違和感があり、今後は点数化の方法を変えるべきではないか。

⇒ 点数化の方法について、アンケート回答の採点幅を広くすることで、点差が大きくなり、違和感を与えないと考えており、次年度からは、「Sの乱発防止のために上位3位までとする」や「S・A・B・C評価の設定に幅を持たせる」など、新たな手法を検討する。

(評価について)

- ◇ 万博誘致活動に協力した取組みについて、公園の機能には直接関係しない事であるが、評価すべきか。

⇒ 全庁的な呼びかけのもと、協力依頼しており、指定管理者には府の施策に協力してもらっている形。ボランティアと協力して取り組んだことも評価した点の一つ。

◇ 長野公園の自己評価欄に「提案のとおり」のみの記載は、取り組む姿勢に問題がある。自己評価は指定管理者にとって、非常に重要な作業の一つだと考えられる。

◇ 住吉公園の波の形をした花壇デザインについての趣旨が来園者に伝わっているか疑問。低木なども使い、より修景的に見せるべき。

⇒ コメント欄の修正（「波をイメージした」を削除）。

◇ 今年度で管理期間が終わる公園もあるが、委員コメントの随所に『期待される』、『望まれる』、『引き続き継続されたい。』等、継続した取組みを求めるコメントを記載した。本委員会は、指定管理者の評価を点検するものであるとともに、指定管理者が代わってもこのような取組みを継続・発展させてほしいと、府に対して指摘・提言するものでもあるので、『引き続き』等というコメントは問題ないとする。

（表彰の進め方について）

⇒ 表彰対象となる取組みを各公園2つまでに絞り込むことでいいか。

◇ 了解。

（財務状況について）

◇ B評価としたからと言って、一概に財政状態が危ない団体だとは言えない。代表企業でもないし、そんなに心配することはない。

（まとめ）

◇ 今回の委員会での意見を踏まえ事務局で評価シートのコメントを修正いただき、次回の委員会で確認し確定させる。

以上